

# 海軍公報

第二千二百號

昭和九年六月二十一日(木)

海軍大臣官房

## ○辭令

○昭和九年六月二十一日

任海軍技手 陸軍歩兵伍長 山本 利道  
給四級俸

廣海軍工廠附ヲ命ス(六十七號海軍省) 海軍技手 山本 利道

## ○雜款

○電話番號變更  
海軍省軍需局第三課長海軍主計大佐加納金三郎宅(杉並區永福町四一〇番地)  
松澤 八五九番

海軍公報 第二千二百號 昭和九年六月二十一日

六二五

2260 ~~6769~~

○艦船所在  
▲印ハホテ  
 指定ヲ要セズ

○六月二十一日午前十時調

【横須賀】日進▲、山城▲、八雲、大鯨、陸奥

富士▲、尻矢、青島

【長浦】区天霧、朝霧、夕霧

区呂五五、呂五四、呂五六

【浦賀】(初霜)

【館山】椿

【銚路】駒橋

【吳】長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、

韓崎、▽加古、神通、白鷹、龍驤、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区芙蓉、

刈萱、朝顔、区子日、初春、区敷波、浦波、

綾波、区東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

呂二七、呂二八、区呂六一、呂六〇、

呂六二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三、

掃一四

石廊、攝津、知床

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】区伊五三、伊五四、伊五五

【玉】(伊六九)、(伊六)

【長濱】(掃一六)

【舞鶴】大井

区伊五二、区伊二二、伊二二

【舞鶴】吾妻▲、多摩▲

区夕顔、葵、菊

区千鳥▲、真鶴▲

呂二六

(夕暮)

【佐世保】加賀▲、鬼怒、足柄、羽黒、夕張、▽龍田、

常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、区鳥海、

古鷹、衣笠、▽青葉、▽那珂、▽由良、迅鯨

梨、竹、樫、区柳、桃、檜、櫻、長月、

皐月、文月、峯風▲、柿、区水無月、如月、

区電、雷、響、区曉、狹霧、漣、区深雪、

白雪、初雪、区白雲、叢雲、薄雲

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、区呂六五、

呂六六、呂六七、区呂六三、呂六四、

呂六八、区伊六〇、伊五九、伊六三、

区伊六六、伊六七、伊六五、区伊六四、

伊六一、伊六二、区伊五六、伊五七、

伊五八、伊四

友鶴

敷島▲、早瀬、鶴見

【寺島水道】(若葉)  
 長良、扶桑、日向、霧島、五十鈴、  
 松風、春風、旗風、朝風、川内、赤城、  
 三日月、夕月、疾風、追風、朝風、望月、  
 伊三、伊一、伊二、伊五、沖風、澤風、  
 伊三、伊一、伊二、伊五、伊三、伊一、伊二、伊五

【長崎】 那智、妙高

【鎮海】 蓬、蓼、蓮

【高雄】 球磨

【旅順】 藤、葛

【大孤山沖】 萩

【大王家島】 薄

【上海】 膠州

【南京】 二見、伏見

【九江】 浦馬

【漢口】 宇治、岡田、堅田

【長沙】 鳥羽

【宜昌】 比良

【重慶】 勢多

【厦門】 勢多

【廣東】 太刀風、帆風

【廣府】 嵯峨

【羅倫母】 洲崎

【古倫母】 磐手、淺間

【作業地】 巖島、八重山、能登呂  
 神風、波風、沼風、野風  
 大泊、野島

【演習地】 北上  
 呂五八、呂五七、呂五九  
 掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【航海中】  
 襟裳 (九日大湊發上、オハ) ( )  
 伊三、伊四 (十三日横須賀發、演習地) ( )  
 出雲 (十六日漢口發、佐世保) ( )  
 佐多 (十八日ホノルル發、佐世保) ( )  
 淀 (十九日旅順發、作業地) ( )  
 比叡、木曾、鳳翔、石巻發、演習地 ( )  
 春日 (十九日石巻發、演習地) ( )  
 吳竹、若竹、早苗 (十九日吳發、横須賀) ( )  
 鳴戸 (十九日横須賀發、寺島水道) ( )  
 保津 (二十日長沙發、宜昌) ( )  
 天龍 (二十日芝罘發、青島) ( )  
 菱、葦、董 (二十日長沙發、宜昌) ( )  
 樹 (二十日沙市發、漢口) ( )  
 矢風 (二十日横須賀發、吳) ( )  
 羽風 (二十日馬公發、馬尾) ( )  
 秋風 (二十日馬公發、汕頭) ( )  
 朝風 (二十日吳發、廣島灣) ( )  
 隱戸 (二十日吳發、オハ) ( )  
 大和 (二十日横須賀發、作業地) ( )  
 神威 (二十日横須賀發、佐世保港外) ( )  
 室戸 (二十一日佐世保發、西戸崎) ( )

(部内限一頁)

2262 0768

# 海軍公報

第二千二百一號

昭和九年六月二十二日(金)  
海軍大臣官房

## ○辭令

特別俸ヲ賜フ

海軍大佐 岡田 倭一

海軍省建築局勤務海軍技手

横山 作太郎

横須賀海軍建築部附ヲ命ス

同

岩下 久哉

横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス

故海軍三等兵曹小田三郎母 小田 きみ

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五拾圓ヲ給與

ス(以上 六月 海軍省)

## ○雜款

○司令潜水艦變更

第二十四潜水隊司令ハ一昨二十日司令潜水艦ヲ呂號第六十三潜水艦ヨリ呂號第六十八潜水艦ニ變更セリ

○伊國軍艦クアルト行動豫定變更(六月十三日 本欄参照)

地 青 宮 元 簽

名 森 津 山 山

着

六月二十九日  
七月三日  
七月十三日

發

六月二十七日  
七月一日  
七月二十三日

海軍公報 第二千二百一號 昭和九年六月二十二日

六二九

2263

0763

○艦船所在 △印△ハホソ  
指定ヲ要セズ

○六月二十二日午前十時調

【横須賀】 日進▲、山城▲、八雲、大鯨、陸奥  
富士▲、尻矢、青島

【長浦】 区天霧、朝霧、夕霧  
区呂五五、呂五四、呂五六

【浦賀】 (初霜)

【館山】 椿

【釧路】 駒橋

【厚岸】 区比叡、木曾、風翔  
区島風、汐風、夕風、灘風、区潮、曙、朧

区伊二三、伊二四

【吳】 長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、  
加古、神通、白鷹、龍驤、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区芙蓉、  
刈萱、朝顔、区子日、初春、区敷波、浦波、  
綾波、区東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、  
呂二七、呂二八、区呂六一、呂六〇、  
呂六二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三、  
掃一四

石廊、攝津、知床、朝日

【大阪】 (伊六八)、(最上)  
(初雁)、(掃一五)

【神戸】 区伊五三、伊五四、伊五五  
(伊六九)、(伊六)

【玉】 (掃一六)

【三津濱】 大井

区吳竹、若竹、早苗

【舞鶴】 吾妻▲、多摩▲  
区伊五二、区伊二一、伊三二

区夕顔、葵、菊

区千鳥▲、真鶴▲

呂二六

【佐世保】 (夕暮)

加賀▲、鬼怒、足柄、羽黒、夕張、区龍田、  
出雲、常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、  
区鳥海、古鷹、衣笠、区青葉、区那珂、  
区山良、迅鯨

梨、竹、樵、区柳、桃、檜、櫻、長月、  
阜月、文月、峯風▲、柿、区水無月、如月、  
区電、雷、響、区曉、狭霧、漣、区深雪、  
白雪、初雪、区白雲、叢雲、薄雲

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、  
呂二九、呂三〇、呂三一、区呂六五、  
呂六六、呂六七、区呂六八、呂六三、  
呂六四、区伊六〇、伊五九、伊六三、

<p>【西戸崎】 室戸 【若葉】 敷島▲ 早鞆、鶴見</p>	<p>【西島水道】 【金剛】 扶桑、日向、霧島、五十鈴 長良、名取、長鯨、川内、赤城 松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、陸月、卯月、彌生、沖風、澤風 伊三、伊一、伊二、伊五</p>	<p>【長崎】 那智▲ 妙高▲ (三隈)</p>	<p>【鎮海】 蓬、蓼、蓮 球磨</p>	<p>【馬公】 藤、葛</p>	<p>【旅順】 薄</p>	<p>【光祿島】 萩</p>	<p>【大王家島】 巴ヲオ 膠州</p>	<p>【青島】 天龍</p>	<p>【上海】 伏見</p>	<p>【南京】 對馬</p>	<p>【九江】 浦風</p>	<p>【漢口】 宇治、隅田、堅田 栗、楡、榎</p>
<p>【長沙】 鳥羽 比良</p>	<p>【宜昌】 勢多</p>	<p>【重慶】 羽風</p>	<p>【馬尾】 太刀風、帆風</p>	<p>【廈門】 秋風</p>	<p>【汕頭】 蟻峨</p>	<p>【廣東】 磐手、淺間 巖島、八重山、能登呂 神島、波風、沼風、野風 大泊、野島</p>	<p>【古倫母】 作業地</p>	<p>【濱習地】 北 呂五八、呂五七、呂五九 掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五</p>	<p>【航海中】 襟裳 (九日大湊發「オハ」) 佐多 (十八日「ホノルル」發「佐世保」) 淀 (十九日旅順發「作業地」) 春日 (十九日「ダグラス」發「横須賀」) 鳴戸 (十九日「長沙」發「宜昌」) 保津、熱海 (二十日「長沙」發「宜昌」) 菱、葦、董 (二十日「長沙」發「宜昌」) 矢風 (二十日「長沙」發「宜昌」) 隱戸 (二十日「長沙」發「宜昌」) 大和 (二十日「長沙」發「宜昌」) 神威 (二十日「長沙」發「宜昌」) 神見 (二十日「長沙」發「宜昌」) 洲崎 (二十日「長沙」發「宜昌」) 韓崎 (二十日「長沙」發「宜昌」)</p>			

(部内限二頁)

2265 0771

# 海軍公報

第二千二百二號

海軍大臣官房

昭和九年六月二十三日(主)

## ○ 辭令

海軍技手 池 淵 榮

同 村上 了 三

同 山根 廣 吉

同 中川 達 雄

同 末永 日 登 一

(各通)

第二部勤務ヲ命ス

(各通)

同 村 山 源

同 齋藤 正 平

第二部勤務ヲ命ス

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 岡平 健 次

第二部勤務ヲ命ス

在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 玉井 勝 俊

第二部勤務ヲ命ス

在福岡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 藪 肇

同 小野 鐵 男

(各通)

第二部勤務ヲ命ス

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上 三十四海軍艦政本部)

計畫助手 大庭 久 雄

部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(六十四同)

## ○ 雜 款

○特務艦隱片行動豫定

地名 着

吳 山 六月二十八日

德 山 七月七日

吳 山 七月十日

德 山 八月五日

發 六月二十日

發 七月三十日

發 七月十四日

發 八月二十九日

發 八月八日

海軍公報 第二千二百二號 昭和九年六月二十三日

六三三

2266

0779

吳 八日

○郵便物發送先

特務艦隱戸宛

七月 九日迄ニ到達見込ノモノハ 徳山

同 十三日迄ニ 同 吳山

八月 七日迄ニ 同 徳山

其ノ後ハ 吳山

海軍大尉正七位飛田武夫四月十九日福井縣今立郡中河村中野五四ノ二六ニ於テ死去

海軍機關少尉候補生井ノ上清王四月六日宮崎縣北諸縣郡中郷村梅北六三四五ノ三ニ於テ死去



○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○六月二十三日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、八雲、大鯨、陸奥、春日  
富士▲、尻矢、青島

【長浦】

区天霧、朝霧、夕霧  
区呂五五、呂五四、呂五六

【浦賀】

(初霜)

【館山】

樺  
駒橋、北上、木曾

【釧路】

区潮、曙、朧  
区呂五八、呂五七、呂五九

【花咲灣】

区比叡、鳳翔  
区島風、汐風、夕風、灘風  
区伊二三、伊二四

【吳】

区長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、  
区加古、神通、白鷺、龍驤、勝力、大井、  
韓崎

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区芙蓉、  
刈萱、朝顔、区子日、初春、区敷波、浦波、  
綾波、区東雲、磯波、吹雪、区吳竹、若竹、  
早苗、矢風

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、  
呂二七、呂二八、区呂六一、呂六〇、

呂六二、区伊五二、伊五一、区伊二一、  
伊二二  
掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三、  
掃一四  
石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】区伊五三、伊五四、伊五五  
(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【舞鶴】吾妻▲、多摩▲  
区夕顔、葵、菊  
区千鳥▲、真鶴▲  
呂二六

(夕暮)

【佐世保】加賀▲、鬼怒、足柄、羽黒、夕張、区龍田、  
出雲、常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、  
区島海、古鷹、衣笠、区青葉、区那珂、  
区山良、迅鯨

梨、竹、榎、区柳、桃、楡、櫻、阜月、  
文月、峯風▲、柿、区水無月、如月、区電、  
雷、響、区曉、狭霧、区深雪、白雪、  
初雪、区白雲、叢雲、薄雲

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、  
呂二九、呂三〇、呂三一、区呂六五、

呂二七、呂二八、区呂六一、呂六〇、

【西戸崎】 室戸  
 【寺島水道】 口金剛、▷扶桑、日向、霧島、五十鈴、  
 ▷長良、名取、▷長鯨、▷川内、▷赤城  
 区松風、春風、旗風、朝風、区菊月、望月、  
 三日月、夕月、区疾風、追風、朝風、夕風、  
 区睦月、卯月、彌生、区沖風、澤風  
 区伊三、伊一、伊二、区伊五  
 問宮、鳴戸  
 【長崎】 那智▲、妙高▲  
 (三隈)  
 【鎮海】 区蓬、蓼、蓮  
 【旅順】 区藤、葛、萩、薄  
 【パラオ】 膠州  
 【青島】 天龍  
 【上海】 伏見  
 【南京】 ▷對馬  
 【九江】 浦風  
 【漢口】 宇治、隅田

【長沙】 区栗、榆、樺  
 鳥羽  
 【宜昌】 比良、堅田  
 区菱、葦、葦  
 勢多  
 【重慶】 勞多  
 羽風  
 【馬尼拉】 区太刀風、帆風  
 秋風  
 【廈門】 区太刀風、帆風  
 秋風  
 【汕頭】 区太刀風、帆風  
 秋風  
 【廣東】 区太刀風、帆風  
 秋風  
 【古倫母】 ▷磐手、淺間  
 巖島、八重山、能登呂  
 【作業地】 区神風、波風、沼風、野風  
 大泊、野島、大和  
 【濱習地】 区掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五  
 航海中  
 襟裳 (九日大湊發「オハ」へ)  
 佐多 (十八日「ホノルル」發「佐世保」へ)  
 淀 (十九日旅順發「作業地」へ)  
 保津 (二十日長沙發「宜昌」へ)  
 隱戸 (二十日吳發「オハ」へ)  
 二見 (二十一日上海發「九江」へ)  
 神威 (二十一日橫須賀發「佐世保港外」へ)  
 洲崎 (二十一日經府發「ホノルル」へ)  
 球磨 (二十二日馬公發「福洲」へ)  
 長月 (二十二日佐世保發「一湊」へ)  
 知床 (二十二日吳發「佐世保」へ)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千二百三號

海軍大臣官房

昭和九年六月二十五日(月)

## ○令達

官房第二八八〇號

昭和九年六月二十五日

海軍大臣

在京親任官殿

皇太后陛下御誕辰ニ關スル件通牒

來二十五日皇太后陛下御誕辰拜賀ハ御都合ニ依リ來二十九日被爲行候ニ付夫人同伴同日午前十一時十分赤坂離宮へ參入相成度

服裝 禮裝(上下黒)勳章記章全部佩用

夫人ハ通常服又ハ桂袴禮着用ノ事

尙當日酒饌下賜相成候

## ○辭令

○昭和九年六月二十五日

任海軍書記

安達章

給八級俸

任海軍技手

給五級俸

(各通)

任海軍技手

給月俸七拾圓

(各通)

任海軍技手

給七級俸

(各通)

任海軍技手

給月俸六拾圓

任海軍技手

給八級俸

木村朝美

有田一夫

藤田忠男

龜谷巖

中村猛雄

長田臣男

村上龍藏

久保芳雄

大久保次郎

海軍公報 第二千二百三號 昭和九年六月二十五日

六三七

0770

獨國駐在員監督ヲ免ス	海軍大佐	遠藤 喜一
獨國駐在員監督ヲ命ス(以上 <sup>六〇</sup> 海軍省)	海軍中佐	横井 忠雄
(各通)	六拾五回	遞信書記官 田村 謙治郎
(各通)	貳拾回	遞信書記 長 津 定
海軍省事務囑託ノ報酬トシテ(各頭書ノ通)ヲ贈與ス		
海軍省事務囑託ヲ解ク	遞信書記官	奥村 喜和男
(各通)	遞信屬	鈴木 慶三
海軍省事務ヲ囑託ス(以上 <sup>三〇</sup> 同)		
海軍機關學校附ヲ命ス	海軍書記	安 達 章
舞鶴要港部附海軍技手		宮川 秀人
吳海軍工廠附ヲ命ス		
舞鶴要港部附兼吳海軍工廠附	同	染谷 七郎
吳海軍工廠勤務ヲ命ス		
馬公要港部附同	扇谷 伊太郎	
海軍技手養成所附兼吳海軍工廠附ヲ命ス	同	木村 朝美
(各通)	同	村上 龍藏
舞鶴要港部附ヲ命ス		

  

(各通)	同	右田 一夫
廣海軍工廠附ヲ命ス	同	龜谷 巖
廣海軍工廠勤務ヲ命ス	同	藤田 忠男
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	中村 猛雄
(各通)	同	長田 臣男
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	大久保 次郎
馬公要港部附ヲ命ス	同	久保 芳雄
故海軍二等兵曹大迫只夫父	大迫 萬藏	
大正二年勅令第十一號ニ依リ金壹千四百圓ヲ給與ス	(以上 <sup>六五</sup> 同)	

  

○雜款

○旗艦變更  
第三艦隊司令長官ハ一昨二十三日旗艦ヲ保津ヨリ堅田ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更  
第二驅逐隊司令ハ本二十五日司令驅逐艦ヲ一時沖風ヨリ澤風ニ變更セリ

0777

○司令潜水艦變更  
第二十八潜水隊司令ハ本月二十日司令潜水艦ヲ伊號第  
六十潜水艦ヨリ伊號第六十三潜水艦ニ變更セリ

○電話架設

海軍航空本部技術部（計畫部員室）へ左ノ通電話架設  
セリ

銀座 二七〇二番

○出發

歐米各  
國出張  
海軍技師 山口、昌三 六  
三十一日 門司發 香取丸

海軍中佐正六位勳四等大谷雄介四月十六日伊國ニ  
於テ死去、來二十八日午後一時ヨリ同二時迄小石  
川區表町傳通院ニテ佛式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第二千二百三號 昭和九年六月二十五日

六三九

0779

○艦船所在

指▲印△ハハホケ  
定ヲ要セズ

○六月二十五日午前十時調

【横須賀】日進▲、山城▲、八雲、大鯨、陸奥、春日

富士▲、尻矢、青島

【長浦】△天霧、朝霧、夕霧

△呂五五、呂五四、呂五六

【浦賀】(初霜)

【館山】椿

【吳】長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、

▽加古、神通、白鷹、龍驤、勝力、大井、

韓崎

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、△芙蓉、

刈萱、朝顔、△子日、初春、△敷波、浦波、

綾波、△東雲、磯波、吹雪、△吳竹、若竹、

早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

△呂二七、呂二八、△呂六一、呂六〇、

呂六二、△伊五二、伊五一、△伊二一、

伊二二

掃七、掃八、掃一〇、△掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日

【大阪】(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】△伊五三、伊五四、伊五五

【玉】(伊六九)、(伊六)

【舞鶴】(掃一六)

吾妻▲、多摩▲

△千鳥▲、真鶴▲

呂二六

(夕暮)

【佐世保】加賀▲、鬼怒、足柄、羽黒、夕張、▽龍田、

出雲、常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、

▽山良、迅鯨、神威、

梨、竹、樞、△柳、桃、楡、櫻、皐月、

文月、峯風▲、柿、△水無月、如月、△電、

雷、響、△曉、狭霧、漣、△深雪、白雪、

初雪、△白雲、叢雲、薄雲、夕月、矢風

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

△呂二九、呂三〇、呂三二、△呂六五、

呂六六、呂六七、△呂六八、呂六三、

△呂六四、△伊六三、伊五九、伊六〇、

△伊六六、伊六七、伊六五、△伊六四、

伊六一、伊六二、△伊五六、伊五七、

伊五八、伊四

友鶴

敷島▲、早瀬、鶴見、間宮、知床

(若葉)

【長崎】那智、妙高

(三隈)

【那覇】長月

【鎮海】蓬、蓼、蓮

室戸

【旅順】藤、葛、萩、薄

【パオ】膠州

【龍口】淀

【青島】天龍

【上海】伏見

【南京】對馬

【九江】二見

【漢口】浦風

宇治、剛田

【長沙】粟、榆、梅

【宜昌】鳥羽

【重慶】勢多、比良、保津、熱海

【福州】球磨

【廈門】太刀風、帆風

【汕頭】秋風

【廣東】嵯峨

【作業地】巖島、八重山、能登呂

神風、波風、沼風、野風

大泊、野島、大和

【演習地】掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【航海中】

襟裳 (九日大湊發「オハ」)

佐多 (十八日「ホノル」發「佐世保」)

隠戸 (二十日吳發「オハ」)

洲崎 (二十一日羅府發「ホノル」)

磐手、淺間 (二十二日古倫母發「バタツイア」)

駒橋 (二十三日釧路發「作業地」)

比叡、鳳翔、島風、汐風、夕風、灘風、伊二三、

伊二四 (二十四日花咲灣發「横須賀」)

北上、木曾、區潮、曙、隴、區五八、區五七、

區五九 (二十四日釧路發「横須賀」)

菱、葦、董 (二十四日宜昌發「漢口」)

羽風 (二十四日馬尾發「那覇」)

區金剛、扶桑、日向、霧島、五十鈴、長良、名取、

區長鯨、區川内、赤城、區松風、春風、旗風、朝風、

區菊月、望月、三日月、區疾風、追風、朝風、夕風、

區睦月、卯月、彌生、區澤風、沖風、區伊三、伊一、

伊二、區伊五、鳴戸 (二十五日寺島水道發「佐世

保」)

區夕顔、葵、菊 (二十五日舞鶴發「淺海灣」)

掃九 (二十五日白杵發「福浦」)

(部内限二頁、同別表七葉)

2274 0789

# 海軍公報

第二千二百四號

海軍大臣官房

昭和九年六月二十六日(火)

## ○辭令

海軍主計中將 加藤 亮一  
海軍經理學校ニ於ケル財政學教授ヲ囑託ス(六月十四日海軍省)

## ○雜款

○特務艦朝日行動豫定	
地名	着
吳	六月三十日
小松島	七月四日
吳	五月五日

○郵便物發送先

特務艦朝日宛  
六月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
七月三日迄ニ同 小松島  
其ノ後ハ 吳

海軍公報 第二千二百四號 昭和九年六月二十六日

六四三

2275 0781



○艦船所在

指<sup>▲</sup>印<sup>△</sup>ハ<sup>○</sup>ハ<sup>○</sup>ホ<sup>○</sup>マ<sup>○</sup>  
指<sup>△</sup>定<sup>○</sup>ヲ<sup>○</sup>要<sup>○</sup>セ<sup>○</sup>マ<sup>○</sup>

○六月二十六日午前十時調

【横須賀】

目進<sup>▲</sup>、山城<sup>▲</sup>、八雲、大鯨、陸奥、春日  
富士<sup>▲</sup>、尻矢、青島

【長浦】

天霧、朝霧、夕霧  
呂五五、呂五四、呂五六

【浦賀】

(初霜)  
樺

【館山】

長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、  
加古、神通、白鷹、龍驤、大井、韓崎

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、呂芙蓉、  
刈萱、朝顔、呂子日、初春、呂敷波、浦波、  
綾波、呂東雲、磯波、吹雪、呂吳竹、若竹、  
早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、  
呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、  
呂六二、呂五二、伊五一、呂伊二一、  
伊二二  
掃七、掃八、掃一〇、呂掃一三、掃一四  
石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)  
【神戸】呂伊五三、伊五四、伊五五

【靱津】

(伊六九)、(伊六)  
勝力  
(掃一六)

【福浦】

掃九  
吾妻<sup>▲</sup>、多摩<sup>▲</sup>

【舞鶴】

千鳥<sup>▲</sup>、真鶴<sup>▲</sup>  
呂二六

【佐世保】

加賀<sup>▲</sup>、鬼怒、足柄、羽黒、夕張、呂龍田、  
出雲、常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、  
鳥海、古鷹、衣笠、呂青葉、呂那珂、  
山良、迅鯨、神威、呂金剛、呂扶桑、日向、  
霧島、五十鈴、呂長良、名取、呂長鯨、  
川内、呂赤城、  
梨、竹、榎、呂柳、桃、楡、樺、臯月、  
文月、峯風<sup>▲</sup>、柿、呂水無月、如月、呂電、  
雷、響、呂曉、狹霧、漣、呂深雪、白雲、  
初雪、呂白雲、叢雲、薄雲、呂夕月、矢風、  
呂松風、春風、旗風、朝風、呂菊月、望月、  
三日月、呂疾風、追風、朝風、夕風、  
呂睦月、卯月、彌生、呂澤風、沖風、  
呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、  
呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、  
呂六六、呂六七、呂六三、呂伊六三、  
伊五九、伊六〇、呂伊六六、伊六七、

海軍公報 第二千二百四號 昭和九年六月二十六日

六四五

【寺島水道】呂六八、呂六四	伊六五、伊六四、伊六二、伊六二、伊五八、伊五七、伊五八、伊四、伊三、伊一、伊二、伊五	友鶴	敷島▲、早鞆、鶴見、間宮、知床、鳴戸
【長崎】那智▲、妙高▲	(三限)		
【那覇】長月			
【鎮海】蓬、蓼、蓮			
【旅順】藤、葛			
【オハ】襟裳			
【青島】天龍			
【上海】伏見			
【南京】對馬			
【九江】二見			
【漢口】宇治、隅田			
【長沙】鳥羽			
【宜昌】保津、熱海			
【重慶】勢多			
【厦門】太刀風、帆風			

  

【油頭】秋風	【廣東】嵯峨	【作業地】嚴島、八重山、能登呂	【神風】波風、沼風、野風	大泊、野島、大和
【航海中】	佐多 (十八日「ホノルル」發—佐世保へ)	隱戸 (二十日吳發—「オハ」へ)	洲崎 (二十一日羅府發—「ホノルル」へ)	磐手、淺間 (二十二日古倫母發—「バタツイア」へ)
	駒橋 (二十三日釧路發—作業地へ)	比叡、鳳翔、呂島風、汐風、夕風、灘風、伊二二、伊二四 (二十四日花咲灣發—橫須賀へ)	北上、木曾、呂潮、曙、臘、呂五八、呂五七、呂五九、呂掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五 (二十四日釧路發—橫須賀へ)	羽風 (二十四日馬尾發—那覇へ)
	堅田、比良 (二十五日宜昌發—重慶へ)	球磨 (二十五日福州發—厦門へ)	淀 (二十五日龍口發—作業地へ)	夕顔、葵、菊 (二十五日舞鶴發—淺海灣へ)
	浦風 (二十五日九江發—南京へ)	薄、萩 (二十五日旅順發—港外出動)		

(部内限一頁)

2277 0793

# 海軍公報

第二千二百五號

昭和九年六月二十七日(水)  
海軍大臣官房

## ○雜款

○總代

來三十日大祓ノ儀行ハセラレ候ニ付勅、奏、判任官總代トシテ同日午後二時四十分賢所參集所へ參集スベキ旨左記諸官へ通達セラレタリ

勅任官總代	海軍主計中將	村上 春一
奏任官總代	海軍大佐	中杉久治郎
判任官總代	海軍技手	森脇末治

海軍公報 第二千二百五號 昭和九年六月二十七日

六四七

2278

6781

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月二十七日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、八雲、大鯨、陸奥、春日、  
比叡、鳳翔、北上、▷木曾  
汐風、灘風

▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士▲、尻矢、青島

【長浦】

▷島風、夕風、▷潮、曙、朧  
▷呂五五、呂五四、呂五六、▷呂五八、  
呂五七、呂五九、▷伊二三、伊二四

【浦賀】(初霜)

▷長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、

【館山】

▷加古、神通、白鷹、龍驤、韓崎

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷芙蓉、  
刈萱、朝顔、▷子日、初春、▷東雲、磯波、  
吹雪

▷呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、  
▷呂二七、呂二八、▷呂六一、呂六〇、  
▷呂六二、伊五一

▷掃七、掃八、掃一〇、▷掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日  
(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)  
【神戸】▷伊五三、伊五四、伊五五  
(伊六九)、(伊六)

【阿多川島】▷敷波、浦波、綾波

【玉】(掃一六)

【多度津】勝力

【長濱】大井

▷伊二一、伊二二、▷伊五二

【舞鶴】吾妻▲、多摩▲

▷千鳥▲、真鶴▲

▷呂二六

【淺海灣】

▷夕顔、葵、菊

【佐世保】

▷加賀▲、鬼怒、足柄、夕張、▷龍田、出雲、  
常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、▷島海、  
古鷹、衣笠、▷青葉、▷那珂、▷山良、  
迅鯨、神威、▷金剛、▷扶桑、日向、霧島、  
五十鈴、▷長良、名取、▷長鯨、▷川内、  
▷赤城

▷梨、竹、樞、▷柳、桃、檜、櫻、皐月、  
文月、峯風▲、楠、▷水無月、如月、▷電、  
雷、響、▷曉、狹霧、漣、▷深雪、白雪、  
初雪、▷白雲、叢雲、薄雲、夕月、矢風、  
▷松風、春風、旗風、朝風、▷菊月、望月、

三日月、  
 疾風、追風、朝風、夕風、  
 睦月、卯月、彌生、  
 澤風、沖風  
 呂二九、呂三〇、呂三一、  
 呂三二、呂三三、呂三四、  
 呂三五、呂三一、  
 呂六六、呂六七、呂六三、  
 呂六五、  
 伊五九、伊六〇、伊六一、  
 伊六二、  
 伊六五、伊六四、伊六一、  
 伊六二、  
 伊五六、伊五七、伊五八、  
 伊四、伊三、  
 伊一、伊二、伊五

友鶴  
 敷島、早鞆、鶴見、間宮、知床、鳴戸  
 (若葉)

【寺島水道】呂六八、呂六四  
 【長崎】那智、妙高  
 (三隈)

【那覇】長月、羽風

【旅順】藤、葛、薄、萩

【巴拉オ】膠州

【オハ】襟裳

【青島】天龍

【上海】伏見

【南京】對馬

【九江】浦風

【漢口】二見

宇治、隅田

【長沙】  
 鳥羽  
 保津、熱海  
 【重慶】  
 勢多  
 【厦門】  
 太刀風、帆風  
 【汕頭】  
 秋風  
 【廣東】  
 曉賊  
 【作業地】  
 嚴島、八重山、能登呂  
 神風、波風、沼風、野風  
 大泊、野島、大和

【航海中】

佐多 (十八日「ホノルル」發—佐世保へ)  
 隱戸 (二十日吳府發—「オハ」へ)  
 洲崎 (二十一日羅府發—「ホノルル」へ)  
 磐手、淺間 (二十二日古倫母發—「バタツイア」へ)  
 駒橋 (二十三日釧路發—作業地へ)  
 堅田、比良 (二十五日宜昌發—重慶へ)  
 球磨 (二十五日福州發—厦門へ)  
 沅 (二十五日龍口發—作業地へ)  
 蓬、蓼、蓮 (二十六日鎮海發—演習地へ)  
 栗、桐、楡 (二十六日漢口發—長沙へ)  
 吳竹、若竹、早苗 (二十六日吳發—伊豫灘へ)  
 天霧、朝霧、夕霧 (二十六日長浦發—館山へ)  
 室戸 (二十六日鎮海發—佐世保へ)  
 掃九 (二十七日別府發—吳へ)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千二百六號

昭和九年六月二十八日(木)

海軍大臣官房

## ○辭令

從七位勳七等 内海福四郎

海軍燃料廠採炭部教習所職務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奉任官待遇トス

(海軍省)

## ○雜款

○軍艦大井行動豫定

地名 着

發

七月三日

六月六日

吳 伊豫灘 七月三日

○出發

歐米香  
出張

海軍大佐

下村 正助

六月二十八日

橫濱發

○赴任

龍田丸

海軍艦政本部造船監督官海軍機關中佐石川雄三ハ來七月十二日神戸出帆鹿島丸ニテ赴任ノ豫定

海軍中尉從七位島内克己本月二十四日死去、一昨二十六日佐世保市島瀬町東本願寺ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

退役海軍軍醫大佐正五位勳三等功五級今井外美太郎一昨二十六日卒去、明後三十日午後三時東京府北多摩郡調布町大字下布田三二七(京王電車布田停留場下車南方徒歩約十分)自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第二千二百六號

昭和九年六月二十八日

六五一

2281

0797

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月二十八日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、八雲、大鯨、陸奥、春日、比叡、鳳翔、北上、木曾

沙風、灘風

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、青島

【長浦】

島風、夕風、潮、曙、隴

呂五五、呂五四、呂五六、呂五八、呂五七、呂五九、伊二三、伊二四

【浦賀】(初霜)

榕

【館山】

長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、加古、神通、白鷹、龍驤、韓崎、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、刈萱、朝顔、子日、初春、東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、呂六二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日

【大阪】

(伊六八)、(最上)

【神戸】

(初雁)、(掃一五)、伊五三、伊五四、伊五五、(伊六九)、(伊六)

阿多田島、敷波、浦波、綾波

【玉】

(掃一六)

【長濱】

大井

【舞鶴】

伊二一、伊二二、伊五二、吾妻、多摩

【千島】

真鶴

【淺海灣】

羽黒

【佐世保】

夕顔、葵、菊、蓬、蓼、蓮

加賀、鬼怒、足柄、出雲、常磐、安宅、高雄、愛宕、摩耶、島海、古鷹、衣笠、青葉、那珂、山良、迅鯨、神威、金剛、扶桑、日向、霧島、五十鈴、長良、名取、長鯨、川内、赤城

梨、竹、樞、柳、桃、檜、檜、臯月、文月、峯風、柿、水無月、如月、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、薄雲、夕月、矢風、松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月、疾風、追風、朝風、夕風

陸月、卯月、彌生、  
 呂三、呂二四、呂二五、呂三一、  
 呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、  
 呂六六、呂六七、呂六三、伊六三、  
 伊五九、伊六〇、伊六六、伊六七、  
 伊六五、伊六四、伊六一、伊六二、  
 伊五六、伊五七、伊五八、伊四、伊三、  
 伊一、伊二、伊五  
 友鶴  
 敷島、早稲、鶴見、間宮、知床、鳴戸、  
 室戸  
 (若葉)  
 寺島水道 呂六八、呂六四  
 長崎 那智、妙高  
 (三隈)  
 那覇 長月  
 旅順 藤、葛、薄、萩  
 パラオ 膠州、隠戸  
 オハ 襟裳  
 青島 天龍  
 上海 伏見  
 南京 浦風  
 九江 二見  
 漢口 宇治、岡田  
 長沙 鳥羽

宜昌 栗、梅、楡  
 重慶 保津、熱海  
 厦門 勢多  
 汕頭 帆風  
 廣東 秋風  
 作業地 巖島、八重山、能登呂  
 神風、波風、沼風、野風  
 大泊、野島、大和  
 航海中  
 佐多 (十八日) ホノルル 發 佐世保 ( )  
 洲崎 (二十一日) 羅府發 羅府 ( )  
 磐手、淺間 (二十二日) 古倫母發 古倫母 ( )  
 駒橋 (二十三日) 劍路發 劍路 ( )  
 堅田、比良 (二十五日) 宜昌發 重慶 ( )  
 淀 (二十五日) 龍口發 作業地 ( )  
 吳竹、若竹、早苗 (二十六日) 吳發 伊豫灘 ( )  
 天霧、朝霧、夕霧 (二十六日) 長浦發 館山 ( )  
 龍田、夕張 (二十七日) 佐世保發 寺島水道 ( )  
 對馬 (二十七日) 南京發 上海 ( )  
 球磨 (二十七日) 厦門發 汕頭 ( )  
 太刀風 (二十七日) 厦門發 汕頭 ( )  
 羽風 (二十七日) 那覇發 基隆 ( )  
 菱、葦、葦 (二十七日) 漢口發 上海 ( )

(附錄九頁、部内限四頁)

2283 0799



# 海軍公報 附録

昭和九年六月二十八日(木)  
海軍大臣官房

## ○ 雜款

### ○ 圖書

去ル五月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

### 和漢書ノ部

A 四〇〇 統帥

統帥權の獨立 中野登美雄著 昭和九 東京 有斐閣

九六七  
九五五  
九六三

B 三〇〇 兵器

鐵鋼學上 日本刀 菊川多利男著 昭和八 東京 日進社

九六八

C 一〇〇 海軍

華府會議後ノ列國製艦狀況 海軍省編  
日英、米、佛伊補助艦勢力消長比較 昭和三

P 一九八

C 四一〇 水路誌

南支那海水路誌 第一卷 追補第一 水路部編  
昭和九

P 一九五

C 六五〇 青少年團

### 青年訓練義解

文部省編 昭和八 財団法人 社會教育協會

P 一九四

### D 〇〇〇 歴史一般

世界歴史大系 東京 平凡社編 昭和九  
第二卷 東洋考古學

九三六

東亞考古學

日本考古學

第五卷 東洋中世史 第二編

駒井知愛共著  
江上波夫共著  
後藤守一著  
三島一  
鈴木俊共編

### D 一〇〇 日本史

今日の歴史 其一(精神教育資料第四十九號)  
教育總監部編 昭和九

P 一九六

### 大日本創生史

石井櫻樹著 昭和八 東京 弘文館

九六一

### 日本歴史(岩波講座)

國史研究會編 昭和九 東京 岩波書店

九三四

西洋人の眼に映じたる日本

石田幹之助著

徳川時代の香樂

兼常清佐著

江戸時代の風俗

齊藤隆三著

幕末の外交

大塚式松著

鎌倉時代の文藝

山田孝雄著

日麗關係

稻葉岩吉著

藤原氏の榮華と院政

吉村茂樹著

古刀と新刀  
 歸化人の安置  
 佛敎の初期文化  
 江戸時代の日鮮關係  
 日清日露の役  
 皇室制度

本間 順治著  
 丸山 二郎著  
 石田 茂作著  
 中村 榮孝著  
 畑山 專太郎著  
 芝 葛 盛著

D二二〇 東洋史

東洋諸民族の歴史 佐々木三治郎著 昭和八  
 東京 大同館書店 九六三

D二二〇 世界大戦々史

大戰の回顧 獨、宰相、フオン、ビュロロ原著 昭和九  
 皆川 鍊彦譯 東京 學而書院 九六三

D三二二 日露海戦史

明治三十七八年戰役海軍職員表 (日露戰史參考資料)  
 海軍大學校研究部編 昭和九 P一九二

其ノ一 明治三十七年二月六日現在  
 其ノ二 明治三十八年五月二十七日現在

D三二〇 世界大戦海戦史

歐洲英國海軍戰史 同附圖 英、ヘンリー、ニヒロト原著  
 海軍中佐 尾崎主税譯 昭和九 九四〇四

一九一四年乃至  
 一九一八年海戦史 潜水艦通商破壊戰史

D六〇〇 傳記

非常時陸海軍人物展望 伊藤金次郎著 昭和九  
 東京 一誠社 九六三三

豐太閣の雄圖 (歴史と趣味) 中村孝也著 (昭和九) P一八八  
 祖父可部安都志 附、邪設正哉  
 可部保富(成)著 昭和八 大阪(可部保富) P一八三

加藤司書傳 司書會編 昭和九  
 福岡市 司書會 P一九一七

松平村塾 久坂玄瑞 福木義亮(椿水)著 昭和九  
 東京 誠文堂 九六三〇

成吉思汗と亞細亞民族 同附圖 大瀨喜一郎著 昭和八  
 東京 伊藤書林 九六二五

E一一〇 列強ノ外交政策  
 日本に於ける蘇聯邦の策動 (テムミドール途上にある蘇聯邦)  
 帝國在郷軍人會本部編 昭和八 P一八六  
 東京 帝國在郷軍人會本部

F一一二 各國政治  
 (滿洲國) 施政綱要 (日文) 國務院編 康徳元 P一九三〇

F二三〇 刑法  
 刑法學粹 宮本英倫著 昭和九 東京 弘文堂書房 九六三七

刑法講義 小野清一郎著 昭和九 東京 有斐閣 九六三八

刑法要論 平井彦三郎著 昭和七 東京 松華堂書店 九六三九

刑法論綱 總論 平井彦三郎著 昭和八 東京 松華堂書店 九六四〇

刑の執行猶豫と有罪判決の  
 宣告猶豫及び其他 (刑事法論集第一卷)  
 小野清一郎著 昭和六 東京 有斐閣 九六四三

2285 079

刑法研究 自第一卷 牧野英一著 昭和六十八 至第四卷 東京 有斐閣 九六四三	刑法學概説 久禮田益喜著 昭和九 東京 巖松堂書店 九六五五	刑法の基礎的理論 島田武夫著 昭和九 東京 有斐閣 九六六〇	刑法論綱各論 平井彦三郎著 昭和九 東京 松華堂書店 九六七五	新刑事訴訟法 日本法學會編 昭和七 東京 日本法學會 九六四一	刑事訴訟法要義 矢追秀作著 昭和八 東京 松華堂書店 九六四四	刑事訴訟法提要 小山松吉著 昭和四 東京 自治館 九六四五	刑事訴訟法講義 小野清一郎著 昭和九 東京 有斐閣 九六四六	強制執行競賣法判例總覽 上、下巻 武藤富男等共編 昭和九 東京 帝國判例法規出版社 九六五九	強制執行法綜覧 上巻 中島寛二著 昭和六 東京 酒井書店 九六六一	六法全書 事項索引及 末川博編 昭和九 參照條文附 東京 岩波書店 九六五三	海軍公報 附録 海軍社編輯部編 昭和九 東京 海軍社 九六三七		
G二〇〇 經濟 小菅敏郎著 昭和九 東京 高陽書院 九六五五	G二〇一 經濟政策 高橋龜吉著 昭和九 東京 千倉書房 九六四九	世界資本主義の前途と日本 歐米新經濟戰線を探りて 高橋龜吉著 昭和九 東京 千倉書房 九六四九	産業合理化 第十二輯 日本商工會議所編 昭和九 東京 日本商工會議所 P一九四五	II一〇二 産業事務 獨、エム、エル、レーマン原著 山邊六郎譯 昭和九 東京 高陽書院 九六五七	II一一一 農業 菊地久一郎編 昭和八 東京 日本農産加工研究會 九六三四	特許な農産物製造法 東京 日本農産加工研究會 九六三四	得たる農産物製造法 東京 日本農産加工研究會 九六三四	農業大辭典 佐藤寛次編 昭和九 東京 日本評論社 九六七三	上巻 あ一す 下巻 せ一わ 東京 三省堂 九六七三	II二一〇 商業 河合諒太郎著 昭和七 東京 三省堂 九六七三	商品學要論 上巻 河合諒太郎著 昭和七 東京 三省堂 九六七三	商品學教科書 河合諒太郎著 昭和七 東京 三省堂 九六七四	最新高等商品學附表 坂口武之助編 昭和六 東京 三省堂 九六七六

海軍公報 附録

工業研究輯覽 第二號 資源局編 昭和九 東京 工政會出版部	II-130 工業	P-1955
昭和八年米統計表 農林大臣官房統計課編 昭和八	II-220 統計諸表	P-1953
昭和八年兵庫縣統計書 兵庫縣內務部統計課編 昭和八	II-221 府縣市統計	P-1949
第三十臺灣總督府統計書 臺灣總督府官房調査課編 昭和九	II-222 國勢ニ關スル統計	P-1946
昭和五年國勢調査報告 內閣統計局編 昭和八、九 東京 統計協會	II-223 國勢調査報告	P-1945
第四卷府縣編		
大分縣		
神奈川縣		
沖繩縣		
山形縣		
徳島縣		
栃木縣		
埼玉縣		
奈良縣		
II-223 年鑑・年報		
第五十回日本帝國統計年鑑 內閣統計局編 昭和八		P-1944
昭和八年日本外國貿易年報 上卷 大藏省編 昭和九		P-1943
一九三三ソウエー卜聯邦年鑑		P-1940
滿鐵經濟調査會編 昭和九 東京日鏡通報社		P-1939
I-110 日本地誌—地方誌		
生吾狀盤「朝鮮」慶州郡 調査資料第四十輯 朝鮮總督府編 昭和九		P-1883
I-160 日本地誌—案内		
楠氏三代の史蹟めぐり (建武中興六百年記念) 陸軍砲兵中佐 大河原 基編 昭和九 大阪 藤原中國堂		P-1919
I-600 地圖		
新最近世界地圖 三省堂編輯所編 昭和八 東京 三省堂		A-606
J-100 數學		A-612
實際家のメートル法意見 横山勝嶺編 昭和九 大阪 メートル協會		P-1955
メートル換算ハンドブック 清水 澄著 昭和八、九 東京 修教社書院		自 九六六二 至 九六六七
J-210 化學		
理論化學 兼作新六著 大正二五 東京 裳華房		九六一九
J-314 建築		
高等建築學 常磐書房編 昭和九 東京 常磐書房		九六八八
第八卷 建築構造 其二		
社寺建築 角 南隆著		九六七一
棟瓦及石構造 八木 憲一著		
木構造 森南 省吾共著		
第二十二卷 建築計畫 共十		

2287 ~~0793~~

劇場 映畫館 カフエー、レストラン ダンスホール 木村榮二郎著 小林隆徳著 小野 蕭著	J三二〇 電氣工學	電氣機械の基礎的構成要素と其運用 上田輝雄著 昭和七 東京 早稻田大學出版部	K一〇三 國體	天皇の御本質と天皇政治の本義 中谷武世著 昭和九 東京 國民思想研究所	K一三二 群集及社會心理	郡衆と教化 加藤熊一郎(唯堂)著 昭和八 東京 新興出版社	K四一〇 社會問題	『五・一五』の全貌と解説 東京日々新聞社編 昭和八 東京日々新聞社	K四二二 社會運動	昭和八年建國祭記録 建國祭本部編 昭和八	K四三六 社會主義	昭和八年 第三インターナショナルに關する研究 十一月調 國際思想研究會編 昭和八 東京國際思想研究會事務室	L一一四 小說	楠木正成 直木三十五著 昭和七 東京 中央公論社	L一五〇 戰爭文學
海軍少佐 福永恭助著 昭和八 東京 海軍研究社	L一八〇 詩歌	皇太子殿下御誕生 奉祝歌 日出づる國 (歴史と趣味) 中村孝也 山田排筈共著 昭和九 (第七編第三號抜刷)	L二三〇 語學—獨逸語	改訂 獨逸文法辭典 附 前後綴綴辭彙 評解獨逸文法 片山正雄著 昭和八 東京 有明堂書店	M一三〇 圖書目錄	農林省圖書目錄 追録第四 農林大臣官房文書課編 昭和九	M五〇〇 藝術	東西圖案大成 大綱爲三等編 昭和九 東京 東西圖案研究會	M五二〇 寫眞術	私のライカ 吉川速男著 昭和九 東京 玄光社	M五三〇 映畫	昭和九年 國際映畫年鑑 國際映畫通信社編 昭和九年 東京 國際映畫通信社	M五〇六 演習紀念寫眞帖	昭和八年 海軍特別大演習寫眞帖 軍令部編 昭和八	M六〇〇 辭書
九六〇六		P一八九〇 P一八九二		P一九三三	九六〇七	P一八四四 P一八四五		P一八四五		P一八四五		P一八八五		九六一〇	

<p>〔博文館〕新修百科大辭典 新修百科大辭典編纂部編 昭和九年東京 博文館 M六二〇 辭書—漢文 新漢和大事典 宇野哲人編 昭和七年 東京 三省堂</p>	<p>六六六</p>	<p>London, 1933. (A460. Aviation) Dept. of Seamanship &amp; Navigation U. S. Naval Academy.-Naval Aviation: A Text-book for Midshipmen 1934. Annapolis, 1933. 8667</p>	<p>8652</p>
<p>雑誌ノ部 I. ENGLISH BOOKS.</p>	<p></p>	<p>(B100. Ships General) American Bureau of Shipping.-American Merchant Marine. U. S., 1933. 8657 Morrill, Robert W.-Oil Tankers. N. Y., 1931. 8655</p>	<p>8657 8655</p>
<p>(A020. Next War) Simonds, Frank H.-American Faces the Next War. N. Y., 1933. 8687</p>	<p>8687</p>	<p>(E400. Engine-General) Dept. of Engineering &amp; Aeronautics U. S. Naval Academy.-Naval Auxiliary Machinery. Annapolis, 1929. 8660</p>	<p>8660</p>
<p>(A050. Navy) Richmond, E. W.-Naval Warfare. London, 1933. 8584</p>	<p>8584</p>	<p>(B410 Steam Engine) Bischoff, L. P.-Naval Reciprocating Engines: A Textbook for the Instruction of Midshipmen at the U. S. Naval Academy. Annapolis, 1929. 8661</p>	<p>8661</p>
<p>(A410. Gunnery) National Service Publishing Company.-Coast Artillery: A Text &amp; Reference Book of Coast Artillery Training. Washington, 1933. 8644</p>	<p>8644</p>	<p>(B430. Internal Combustion Engine) Officers of the Dept. of Engineering &amp; Aeronautics.-Internal Combustion Engines: Their Principles &amp; Application to Automobile, Aircraft, &amp; Purposes. Annapolis, 1931. 8666</p>	<p>8666</p>
<p>(A441. Fuel) Heyman, Louis.-The New Aspect of the Oil Problem. London, 1933. 8647</p>	<p>8647</p>	<p>(B430. Internal Combustion Engine) Officers of the Dept. of Engineering &amp; Aeronautics.-Internal Combustion Engines: Their Principles &amp; Application to Automobile, Aircraft, &amp; Purposes. Annapolis, 1931. 8666</p>	<p>8666</p>
<p>(A442. Lubricants) Evans, Elliott A.-Lubricating &amp; Allied Oils: A Handbook for Chemists, Engineers &amp; Students (Directly Useful Technical Series).</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>

2289

0775

(B470. Boiler) Dept. of Engineering & Aeronautics U. S. Naval Academy-Marine & Naval Boilers. Annapolis, 1929.	8659	(J310. Mechanical Engineering-General) Charrock, G. F.-The Mechanical Transmission of Power. London, 1933.	8645
(G330. Function) Richmond, H. W.-Naval Training. London, 1933.	8681	Seyens, William H. & Degler, Howard E.-Steam, Air & Gas Power. N. Y., 1933.	8650
(D500. History of Air Warfare) Jones, H. A.-The War in the Air: Being the Story of the Part Played in the Great War by the Royal Air Force. Vol. IV. Oxford, 1934.	8687 to 8699	Zimmer, George Frederick-The Mechanical Handling & Storing of Material: A Treatise on the Commercial Products. Vol. I. II. London, 1932.	8694
(E320. Diplomacy-General) Surtag, Raymond James-European Diplomatic History 1871-1932, N. Y., 1933.	8688	(J312. Building) Russell, Peter & Dowell, George-Competitive Design of Steel Structures. London, 1933.	8633
(E202. Armament) Harris, H. Wilson-Naval Disarmament. London, 1930.	8690	(J314. Engine) Judge, Arthur W.-High Speed Diesel Engines: with Special Reference to Automobile & Aircraft Types: An Elementary Textbook for Engineers Students and Operators. London, 1933.	8651
(J223. Metals) Aluminium Company of America-Structural Aluminum Handbook with Supplement. Pittsburg, 1930.	8696 to 9697	(J315. Machinery) Boston, Orlan William-Engineering Shop Practice Vol. 1. N. Y., 1933	8662
(J300. Engineering-General) Temple, G. & Bickley W. G.-Rayleigh's			

(J317. Naval Architecture) Manning, G. C. And Schumacher, T. L.- Principles of Naval Architecture and War- ship Construction. Annapolis, 1930. Society of Naval Architects and Marine Engineers.-The Society of Naval Architects and Marine Engineers TRANSACTIONS Vol. 40. N. Y., 1933. 8658	(Y100. Miscellaneous Militaires, Marine, Aéronautique) R.-La Guerre Aéro-Chimique et les Populations Civiles: Etude Historique, Clinique, Thérapeutique et Préventive. Paris, 1933. 1665
(J320. Electrical Engineering-General) Fish, Gilbert D.-Arc-Welded Steel Frame Structures Designing, Estimating, and Con- struction Data for Engineers, Architects and Constructors. N. Y., 1933. 8653	(Y100. Miscellaneous Militaires, Marine, Aéronautique) Dufénois.-Les Méthodes Actuelles de la Balistique Extérieure. Paris, 1921. 1574
(J331. Metal) Hedges, Ernest S.-Protective Films on Metals N. Y., 1932. 8646	(Y600. Science) Barthansen, H. et Louré, A.-Les Tubes à Vide et Leurs Applications Tome. I. Paris, 1933. 1576
2. LIBRES FRANÇAIS. (Y000. Science Militaire) Bonasse, H.-Gyroscopes et Projectiles. Paris, 1923. 1581 & 1582	Boileau, Ch.-Le (hautage électrique. Paris, 1920. 1571
Izard, L. et Gillenls, J. des et Kermarrec.	Bonasse, H.-Construction, Description et Emploi des Appareils de Mesure et D'Observation. Paris, 1921. 1580
	Brihat, G.-Cours D'Optique: A L'Usage de L'Enseignement Supérieur. Paris, 1931. 1584
	Gastex, A.-Accumulateurs Électriques. Paris, 1578
	Chrétien, Lucien.-Orles Courtes et Onées

2291

1933



Trés-Courtes. Paris, 1932. 1577  
 Clément, C.-La Construction des Bobinages  
 Électriques: Aide-Mémoire du Bobinier.  
 Paris, 1932. 1572  
 Cross, Harold H. U.-Piles et Accumulateurs  
 Électriques Pour Auto, Radio, etc. Paris,  
 1932. 1590  
 David, Pierre.-Les Radio-Communications  
 Modernes. Paris, 1932. 1563  
 Desgardes.-E.-Calcul des Ressorts: Formules  
 Pratiques et Barèmes. Paris, 1928. 1565  
 Desgrandschaps, R.-G.-Précis D'Aérodynamique.  
 Paris, 1932. 1598  
 Dyck, D. G. R. Van.-Télévisions  
 Expérimentale. Paris, 1932. 1575  
 Frimandeau, S.-La Soudure Électrique: A  
 L'Arc Métallique. Paris, 1925. 1564  
 Fulmen.-Manuel des Batteries de be  
 Démarrage. Paris, 1932. 1569  
 Mars, G. et Pétrót, E.-Les Aciers Spéciaux:  
 Historique Propriétés-Traitements-Fabrica-  
 tion. Paris, 1932. 1573  
 Mathis, A. R.-Des Essais des Fils et Câbles  
 Isolés au Caoutchouc. Paris, 1932. 1568  
 Maurer, P.-Radiotélégraphie Pratique et

Radiotéléphonie. Paris, 1924. 1570  
 Mesny, René.-Télévision et Transmission de  
 Images. Paris, 1933. 1589  
 Parisot, Jacques et Ardisson, A.-La  
 Protection Contre le Danger Aéro Climatique:  
 Rôle des Infirmités Secouristes et  
 Assistantes du Devoir National. 1932. 1585  
 Poncet, Ch.-L'Horloger. Paris, 1924. 1587  
 Raiba, E. V. et Seidenar, J.-Manuel de  
 L'Ingénieur Électricien Tome. 1. 2. Paris,  
 1926. 1591  
 Tissot, C. et autre. Manuel de Télégraphie  
 Sans Fil et Téléphonie Sans Fil. Paris,  
 1932. 1588  
 Vermit, Louis. Burlot, E. Lécroché H.-Les  
 Poudres et Explosifs. Paris, 1932. 1579  
 Zworykinn V. K. et Wilson, E. D.-Les  
 Cellules Photo-Électriques et Leurs Applica-  
 tions. Paris, 1931. 1583

0790 2292

# 海軍公報 第二千二百七號

昭和九年六月二十九日(金)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第二九四九號

昭和九年六月二十九日

海軍省副官

關係各廳長殿

圖書館學講習會講習員派遣ノ件照會

首題ノ件ニ關シ左記ノ通照會有之候ニ付テハ該事務ニ  
從事スル者(判任官以上)ニシテ聽講ヲ要スル者アラ  
バ別紙様式ノ願書及履歷書(美濃白紙)ヲ來七月七日  
迄ニ人事局ニ到達スル様提出セシメラレ度尙旅費ハ配  
付豫算内支辨ニ有之候

記

拜啓愈御清祥之段奉慶賀候陳者來ル七月二十一日ヨリ  
同三十日マデ十日間東京市上野公園東京科學博物館講  
義室ニ於テ本協會主催圖書館學講習會別紙ノ通開催致  
候間御係職員聽講方御希望有之候ハバ御申越被成下度

此段御案内申上候

敬具

追テ期日前ニテモ定員ニ相達シ候節ハ乍遣憾御希望  
ニ兼應候ニ付豫メ御含置被下度爲念申添候

昭和九年六月

社團 日本圖書館協會理事長 松本 喜一  
法人 日本圖書館協會理事 長谷川 清殿

海軍次官 長谷川 清殿

(別紙)

日本圖書館協會主催

圖書館學講習會要項

- 一、日時 昭和九年七月二十一日ヨリ三十日迄十日間  
毎日午前八時ヨリ開講午前ハ學科午後ハ  
實習又ハ見學
- 一、場所 東京市上野公園東京科學博物館講義室
- 一、講習員 圖書館又ハ圖書整理事務ニ従事スル者又  
ハ本協會ニ於テ適當ト認メタル者
- 一、人員 約百名

一、科目及講師

和漢圖書目錄法

京都帝國大學司書官 山鹿 誠之助氏

洋書目錄法

滿鐵大連撫順圖書館長 大佐 三四五氏

圖書分類法

帝國圖書館司書 加藤 宗厚氏

圖書利用法

前日比谷圖書館頭 今澤 慈海氏

兒童圖書館

大橋圖書館主事 竹内 善作氏

書誌學一班

文學博士 幸田 成友氏

一、會費 聽講料ハ不要但シ講習資料實費ヲ要スル  
コトアルヘシ

一、手續 希望者ハ願書並履歷書ヲ提出ノコト

願書

貴會主催圖書館學講習會ニ聽講致度ニ付御許可相成度  
及御願候也

昭和 年 月 日

現住所

社団法人 日本圖書館協會

理事長 松本喜一殿

氏名(捺印)

履 歷 書

本籍

現住所

勤務先

姓名

年 月 日生

學 業  
職 業

右之通相違無之候也

昭和 年 月 日

右

(署名捺印)

醫第二〇四號

昭和九年六月二十八日

海軍省醫務局

海軍各廳御中

2294 0500

海軍醫務制規豫約募集ノ件通知

目下改版中ノ海軍醫務制規左記ニ依リ固人要望ノ需ニ  
應ズ

記

- 一、一部代價(送料共) 金貳圓内外ノ見込
- 一、配布ノ時期 昭和九年十一月中ノ豫定
- 一、豫約申込先 東京水交社學務部宛
- 一、申込締切期日 昭和九年八月十日
- 一、代金支拂方法 配本ヲ俟テ申込先ニ拂込ムコト
- 一、將來ノ挿換 本冊申込者ニハ其ノ都度配布シ實費ヲ徴スルコトトス

○雜款

○旗艦變更  
横須賀警備戰隊司令官ハ一昨二十七日旗艦ヲ比叡ヨリ  
木曾ニ變更セリ

海軍公報 第二千二百七號 昭和九年六月二十九日

六五七

2295 ~~0807~~

○艦船所在

指<sup>▲</sup>印<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>カ<sup>△</sup>ソ<sup>△</sup>  
指<sup>▲</sup>定<sup>△</sup>ヲ<sup>△</sup>要<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ズ

○六月二十九日午前十時調

【横須賀】

日進<sup>▲</sup>、山城<sup>▲</sup>、八雲、大鯨、陸奥、春日、  
比叡、鳳翔、北上、▷木曾  
汐風、灘風

▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士<sup>▲</sup>、尻矢、大和

【長浦】

▷島風、夕風、▷潮、曙、隴  
▷呂五五、呂五四、呂五六、▷呂五八、  
▷呂五七、呂五九、▷伊二三、伊二四

【浦賀】

(初霜)  
椿

【大湊】

大泊

【吳】

▷長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、  
▷加古、神通、白鷺、龍驤、韓崎、勝力  
谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷芙蓉、  
刈萱、朝顔、▷子日、初春、▷東雲、磯波、  
吹雪

▷呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、  
▷呂二七、呂二八、▷呂六一、呂六〇、  
▷呂六二、伊五一  
▷掃七、掃八、掃九、掃一〇、▷掃一三、  
掃一四

石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大阪】

(初雁)、(掃一五)

【神戸】

▷伊五三、伊五四、伊五五  
(伊六九)、(伊六)

【阿多田島】

▷敷波、浦波、綾波

【玉】

(掃一六)

【長濱】

大井

【舞鶴】

▷伊二一、伊二三、▷伊五二  
吾妻<sup>▲</sup>、多摩<sup>▲</sup>  
▷千鳥<sup>▲</sup>、真鶴<sup>▲</sup>  
▷呂二六  
(夕春)

【尾崎灣】

常磐

【淺海灣】

羽黒

【佐世保】

▷加賀<sup>▲</sup>、鬼怒、足柄、出雲、▷龍田、夕張、  
安宅、神威  
梨、竹、榎、▷柳、桃、檜、櫻、峯風<sup>▲</sup>、  
柿、矢風  
▷呂二三、▷呂二四、▷呂二五、▷呂三一、  
▷呂二九、▷呂三〇、▷呂三一、▷呂六五、  
▷呂六六、▷呂六七、▷呂六三、▷伊六三、  
伊五九、伊六〇  
友鶴  
敷島<sup>▲</sup>、早瀬、鶴見、間宮、知床、鳴戸

【若葉】  
 【寺島水道】呂六八、呂六四  
 【長崎】那智、妙高▲  
 (三限)  
 【鎮海】阜月  
 【古仁屋】長月  
 【旅順】淀  
 【巴拉オ】膠州  
 【オハ】隱戸  
 【青島】天龍  
 【上海】對馬、伏見  
 葦、董  
 【南京】浦風  
 【九江】二見  
 【漢口】宇治  
 栗、梅、楡  
 【長沙】鳥羽  
 【宜昌】熱海  
 【重慶】堅田、比良、勢多  
 【厦門】帆風  
 【汕頭】球磨  
 【作業地】  
 太刀風、秋風  
 巖島、八重山、能登呂  
 神風、波風、沼風、野風  
 野島  
 【航海中】  
 佐多 (十八日「ホノルル」發—佐世保へ)

洲崎 (二十一日經府發—「ホノルル」)  
 磐手、淺間 (二十二日古倫母發—「バタツイア」)  
 駒橋 (二十三日釧路發—作業地へ)  
 吳竹、若竹、早苗 (二十六日吳發—伊豫灘へ)  
 天霧、朝霧、夕霧 (二十六日長浦發—館山へ)  
 羽風 (二十七日那覇發—基隆へ)  
 那珂、山良、迅鯨、鳥海、摩耶、青葉、古鷹、  
 衣笠、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、自雪、  
 初雪、白雲、叢雲、薄雲、伊五六、伊五七、  
 伊五八、伊六四、伊六一、伊六二、伊六六、  
 伊六五、伊六七 (二十八日佐世保發—加德水道へ)  
 扶桑、日向 (二十八日佐世保發—油谷灣へ)  
 金剛、霧島、長良、五十鈴、名取、長鯨、高雄、  
 愛宕、川内、赤城、松風、春風、旗風、朝風、  
 夕風、望月、三月、夕月、疾風、追風、朝風、  
 伊三、伊一、伊二、伊五、伊四 (二十八日佐世  
 保發—寺島水道へ)  
 岡田 (二十八日漢口發—長沙へ)  
 保津 (二十八日宜昌發—漢口へ)  
 菱 (二十八日南京下流發—大冶へ)  
 藤、葛、萩 (二十八日旅順發—安東へ)  
 夕顔、葵、菊、蓬、蓼、蓮 (二十八日淺海灣發)  
 青島 (二十八日横須賀發—佐世保へ)  
 襟裳 (二十八日オハ發—徳山へ)  
 嵯峨 (二十九日廣東發—香港へ)  
 水無月、文月 (二十九日佐世保發—演習地へ)  
 室戸 (二十九日佐世保發—西戸崎へ)

(部内限ナシ)

# 海軍公報

第二千二百八號

海軍大臣官房

昭和九年六月三十日(土)

## ○令達

官房第二九五七號

左記ニ依リ昭和九年十一月海軍軍醫學校高等科學生ヲ採用ス

昭和九年六月三十日

海軍大臣

記

一、選拔表到達期日 昭和九年八月三十一日

二、候補者

(イ) 昭和四年十一月三十日ヨリ昭和六年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル者

(ロ) 年齢計算期日 昭和九年八月三十一日

(ハ) 選拔ノ際學生タラザル者

## ○通牒

經調第五八號

昭和九年六月二十八日

海軍省經理局長

各海軍經理部長  
各收入官吏(殿)

國庫納金ヲ收納シタル場合ノ報告書ニ

關スル件通牒

首題ノ件左記ニ依リ取扱相成度

記

一 收入官吏國庫納金ヲ收納シタル場合ニ於テ其ノ歲入徵收官ガ經理局長ナルトキハ出納官吏事務規程第十四條ニ依リ調製スル報告書ニ別表仕譯書ヲ添付シ歲入徵收官ニ送付スルト同時ニ各寫ヲ所轄經理部長ニ送付ス

二 經理部長前號書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ調査シ歲入徵收官タル經理局長ニ送付ス

(別表)

海軍公報 第二千二百八號 昭和九年六月三十日

六六一

0804

科目及類別	款項、類別	金額	事由
雜收入	恩給法 納金 武官納金		
	將官		少將何某、何年何月分
	佐尉官		大佐何某外何名同月分
	特務士官 准士官		特務大尉何某外何名同月分
	下士官		一曹何某外何名同月分
	職務加俸		大佐何某同月分
備考	文官俸給ニ對スル國庫納金其ノ他ノ收入ニ付 テハ從前ノ通トス		

○ 辭 令

高畑 正二  
吳海軍工廠ニ於ケル事變關係造船業務ヲ囑託ス  
但シ報酬月額八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス  
城島 清一郎  
佐世保海軍工廠ニ於ケル事變關係造船業務ヲ囑託ス

但シ報酬月額八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス  
(海軍省)  
海軍主計特務中尉 土屋 弘三郎  
海軍艦政本部ニ於ケル事變ニ關スル豫算整理事務囑託ヲ解ク  
鶴岡 英吉  
海軍經理學校ニ於ケル游泳術教授ヲ囑託ス  
但シ報酬月額八拾圓ヲ贈與シ部内限奏任官待遇トス  
佐藤 正彦  
海軍技術研究所ニ於ケル事變關係造船業務ヲ囑託ス  
但シ報酬月額八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス  
(以上 三十日同)

0895



○艦船所在  
指▲印ハハホホ  
ヲ要セズ

○六月三十日午前十時調

【横須賀】日進▲、山城▲、八雲、大鯨、陸奥、春日、

比叡、鳳翔、北上、▶木曾

沙風、灘風

□掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士▲、尻矢、大和

【長浦】□島風、夕風、□潮、曙、朧

□呂五五、呂五四、呂五六、□呂五八、

呂五七、呂五九、□伊二三、伊二四

【浦賀】(初霜)

【館山】椿

【大湊】大泊

【奥】長門、榛名、伊勢、矢矧、平戸、阿武隈、

大井、▶加古、神通、白鷹、龍驤、韓崎

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、□芙蓉、

刈萱、朝顔、□子日、初春、□東雲、磯波、

吹雪、□吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

□呂二七、呂二八、□呂六一、呂六〇、

呂六二、伊五一、□伊二一、伊二二、

□伊五二

掃七、掃八、掃九、掃一〇、□掃一三、

掃一四  
石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大 阪】(初雁)、(掃一五)

【神 戸】□伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【舞 鶴】吾妻▲、多摩▲

□千鳥▲、真鶴▲

呂二六

(夕暮)

【尾崎灣】常磐

【佐世保】加賀▲、鬼怒、足柄、出雲、安宅、神威

梨、竹、樵、□柳、桃、檜、櫻、峯風▲

柿、矢風

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

□呂二九、呂三〇、呂三一、□呂六五、

呂六六、呂六七、□伊六三、伊五九、

伊六〇

友鶴

敷島▲、早鞆、鶴見、間宮、知床

(若葉)

【西戸崎】室戸

【長 崎】那智▲、妙高▲

(三隈)

海軍公報 第二千二百八號 昭和九年六月三十日

六六三

0806

〔古仁屋〕長月  
 〔鎮海〕阜月  
 〔基隆〕羽風  
 〔安東〕藤、葛、萩  
 〔旅順〕淀  
 〔巴拉オ〕膠州  
 〔青島〕天龍  
 〔上海〕對馬、伏見  
 〔南〕浦風  
 〔九江〕二見  
 〔漢口〕宇治、保津  
 〔宜昌〕栗、榎、榆  
 〔重慶〕熱海  
 〔厦門〕堅田、比良、勢多  
 〔汕頭〕帆風  
 〔香港〕球磨  
 〔作業地〕嵯峨  
 〔航海中〕野島、波風、沼風、野風  
 〔佐多〕〔十八日〕「ホノルル」發—佐世保(〜)  
 〔洲崎〕〔二十一日〕羅府發—「ホノルル」(〜)  
 〔磐手、淺間〕〔二十二日〕古倫母發—「バタツイア」(〜)  
 〔駒橋〕〔二十三日〕釧路發—作業地(〜)

〔天霧〕朝霧、夕霧 (二十六日長浦發—館山(〜))  
 〔那珂〕山良、迅鯨、口鳥海、摩耶、青葉、古鷹、衣笠、電、雷、響、曉、秋霧、濠、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、薄雲、伊六一、伊五六、伊五七、伊五八、伊六四、伊六一、伊六二、伊六六、伊六五、伊六七 (二十八日佐世保發—加徳水道(〜))  
 〔扶桑〕日向 (二十八日佐世保發—油谷灣(〜))  
 〔岡田〕〔二十八日〕漢口發—長沙(〜)  
 〔菱田〕〔二十八日〕南京下流發—大冶(〜)  
 〔夕顔〕葵、菊、蓮、蓼、蓮 (二十八日淺海灣發)  
 〔青島〕〔二十八日〕橫須賀發—佐世保(〜)  
 〔襟裳〕〔二十八日〕オハ發—徳山(〜)  
 〔金剛〕霧島、長良、五十鈴、名取、長鯨、高雄、愛宕、川内、赤城、松風、春風、旗風、朝風、夕風、望月、三月月、夕月、疾風、朝風、伊三、伊一、伊二、伊五、伊四 (二十九日寺島水道發—油谷灣(〜))  
 〔龍田〕夕張 (二十九日佐世保發—演習地(〜))  
 〔羽黑〕〔二十九日〕淺海灣發  
 〔能登呂〕〔二十九日〕函館發—雄基(〜)  
 〔鳥羽〕〔二十九日〕長沙發—宜昌(〜)  
 〔水無月〕浦波、綾波 (二十九日佐世保發—演習地(〜))  
 〔敷波〕〔二十九日〕阿多田島發—吳(〜)  
 〔太刀風〕〔二十九日〕油頭發—香港(〜)  
 〔呂六八〕呂六三、呂六四 (二十九日佐世保發—演習地(〜))  
 〔鳴戸〕〔二十九日〕寺島水道發—加徳水道(〜)  
 〔勝力〕〔三十日〕吳發—佐伯(〜)  
 〔隠戸〕〔三十日〕オハ發—徳山(〜)

(部内限五頁)

0007